

国内外の創造都市ネットワークについて

【国外ネットワーク】

1 ユネスコ創造都市ネットワークについて

●目的

地域固有の文化の消失を防ぎ、文化的多様性を保持することを背景に、創造的・文化的産業の振興に関する国際的な都市間連携と交流を促進するプログラム（2004年創設）

①文学 ②映画 ③音楽 ④クラフト&アート ⑤デザイン ⑥メディアアート ⑦食文化

●加盟方法

各都市からの申請に基づき、ユネスコが審査・選考

●意義

認定都市は世界に対してのアピール、都市イメージの向上、世界の加盟都市との相互交流の促進が可能となる

●加盟都市 41都市（2014年1月現在）

申請分野	都市数	世界	アジア	日本
文学	7	●エジンバラ(イギリス) ●アイオワシティ(アメリカ) ●ノリッチ(イギリス) ●グラクフ(ポーランド)		
映画	2	●ブラッドフォード(イギリス) ●シドニー(オーストラリア)		
音楽	6	●セビリア(スペイン) ●グラスゴー(イギリス) ●ポコタ(コロンビア) ●ポローニャ(イタリア)		
クラフト&フォークアート	7	●サンタフェ(アメリカ) ●ファブリアーノ(イタリア) ●アスワン(エジプト) ●パデューカ(アメリカ)	●イチョン(韓国) ●杭州(中国)	★金沢市(日本)
デザイン	11	●ブエノスアイレス(アルゼンチン) ●モントリオール(カナダ) ●グラーツ(オーストリア) ●ベルリン(ドイツ)	●サン=テティエンヌ(フランス) ●深圳(中国) ●上海(中国) ●ソウル(韓国) ●北京(中国)	★名古屋市(日本) ★神戸市(日本)
メディアアート	3	●リヨン(フランス) ●アンギャン・レ・パン(フランス)		★札幌市(日本)
食文化	5	●ボバヤン(コロンビア) ●エステルズド(スウェーデン) ●ザーレ(レバノン)	●成都(中国) ●チョンジュ(韓国)	

2 申請経緯

- 2007年3月(H19) 第1次浜松市総合計画策定 都市の将来像に『市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」』を位置づけ
- 2009年3月(H21) 浜松創造都市推進会議およびユネスコ加盟申請検討委員会を設置
- 2011年3月(H23) ユネスコ事務局(パリ)に申請書を提出
→12月までに2回の修正指示があり、修正版申請書を送付(12月)
- 2011年12月(H23) ユネスコの財政難より候補都市の申請書の評価活動が一時中止
- 2012年8月(H24) 新潟市、札幌市、鶴岡市、浜松市の4市長連名で、ユネスコ本部に審査再開の要望書を提出
- 2013年7月(H25) ユネスコが審査再開を発表
- 2013年10月(H25) 新フォーマット及び新たな審査方法の公表
- 2014年2月(H26) 新フォーマットによる正式申請

3 申請のための提出物・申請内容

●提出物

- ・申請書（ユネスコが定めたフォーマット）
- ・市長によるプレゼンテーションレター
- ・ユネスコ国内委員会からの推薦書
- ・申請分野における国内専門機関からの推薦書
日本演奏連盟、日本ショパン協会、日本作編曲家協会、日本モーツァルト研究所から受領
- ・申請分野で既に加盟している5つ以上の都市からの推薦書
ボローニャ、ボゴタ、ブラザヴィル、ゲント、セビリア、グラスゴー（6都市）から受領

4 これからの動き

●今後のスケジュール

2014年9月	総会（中国・成都）
～2014年10月30日	ユネスコ外部審査員による申請書の審査
～2014年11月28日	申請自治体に審査結果を通知

【国内のネットワーク】

1 CCNJ(創造都市ネットワーク日本)について

●目的

創造都市の取組を推進する地方自治体等多様な主体を支援するとともに、国内及び世界の創造都市間の連携・交流を促進するためのプラットフォームとして、わが国における創造都市の普及・発展を図る。（2013年創設、現在33自治体と13の団体が参加）

●活動

ネットワーク会議、セミナー・研修、情報発信などを行う。

2 今年度の動き

- ・2014年8月 創造農村ワークショップ（北海道東川町）
- ・2014年8月 創造都市政策セミナー（札幌市）
- ・2014年10月 首長サミット・国際シンポジウム（横浜市）
- ・2014年度中 総会（金沢市）

※2014～2015年度の幹事団体は浜松市のほか、金沢市、神戸市、篠山市、札幌市、鶴岡市、新潟市（代表幹事は金沢市）